

第7回 NEXT 長崎ミーティング in 島原半島 の実施結果

- 1 . 日 時 : 令和4年12月17日(土) 15 : 50 ~ 18 : 00
- 2 . 場 所 : ザ・マーキーズ ホテル&ウエディング (南島原市深江町)
- 3 . テーマ : 「地域の魅力や自慢、課題について語ろう」
- 4 . 方 法 : 対面及びオンライン (Webex) を併用
- 5 . 参加者 : 10名 (対面6名、オンライン4名)
 - ・新規メンバー : 5名 (社会人5名)
 - ・現メンバー : 3名 (社会人2名、大学生1名)
 - ・県職員メンバー : 1名
 - ・サポートメンバー : 1名

6 . 主な意見

【地域の魅力や課題について】

- ・島原半島を出てから初めて地元の良さに気づいた。歴史や文化など地域の魅力をうまくPRしていく必要があるのでは。
- ・自然豊かで新鮮で美味しい食べ物が豊富なので、そのような魅力について、TikTok やインスタなどの SNS を使った若い人向けの発信が重要ではないか。SNS でつながったり出会ったりするなど、時代に合ったつながりもできるのでは。
- ・地域の文化 (祭りなど) について、地域の高齢者が運営を行っており、今後も引き継いでいけるような若い担い手が少ない。
- ・島原半島も含めて長崎では古風なものを活かす雰囲気があるが、時代は変わっていくからこそ、新しい時代についていくために改善していきながら、若い人たちが戻ってきたいと思えるような環境を作ることも大事では。
- ・一部の高校生にアンケートを取った中では、多くの生徒が卒業後に島原から転出していった。商業施設、娯楽施設、交通機関が発達して地域に楽しみが増えてほしいという意見も多くあった。
- ・交通が不便だったり家賃が高いということで、若い人にとっては住みにくい状況でもあると感じる。
- ・商業施設が発展することで、農業などが衰退していったらプラスマイナスゼロになるので、農業などを活かしながら産業が発展してほしい。
- ・結婚や親の介護をきっかけとして、地元に戻りたいと思ったときに、地元で仕事が無いというのも課題である一方、デジタルや SNS を使うことで、仕事の幅も広がってきているのではないか。
- ・中学や高校という若いうちに地元の企業や人と出会う場がないからこそ、地元の良さを知らないまま県外に出てしまうということもあるのでは。
- ・仕事が無いことに対しても、希望する職種が無いのか、雇用形態が合わないのかなどの原因を分析することで、実態に即した取組ができるのではないか。

- ・子育てについて、大人たちが本気になって子どもたちに手を差し伸べるようなまちの優しさがあると、そのまちに住みたくなるのでは。

【NEXT 長崎ミーティングの PR 動画について】

- ・ターゲットとしている 20 代や 30 代の若者向けとして、スマホで見れるようなサイズや、より短い時間の動画にした方がよいのでは。例えば、縦長のサイズだったり、いくつかの短い動画（1分程度）に分けるとか。
- ・動画を見て感化されて何かやってみようと思う若者が少しでも出てくれれば。

【当ミーティングについて】

- ・社会人になって、職場以外の人とのつながりが少なくなっている中、NEXT 長崎ミーティングのようなつながりの場があって良かった。リアルだけではなくオンラインも活用することでつながりも広がり、みんなで話ながら新しい未来像を描けるようなプラットフォームになっていければ。

7 . その他

- ・次回は 1 月以降開催予定。
- ・開催方法等、これまでのミーティングの内容を踏まえて検討する。